



# 心の糧

十二使徒評議員会 ボイド・**K**・パッカ*ー* 

あ なたがたのうち、いわゆる反抗的な若者と言われる人たちは、綱を断ち切り おそらく家族の結びつきをも断ち切って、人生の大海に漂っている。さてあなたは正しい海に漂い、正しい舟に乗っているのかも知れないが、魚の釣れない方のへりで針糸をたらしている。ある者は全然魚が釣れない所で釣糸をたらしている。

「するとイエスは彼らに言われた。『舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう。』彼らは 網をおろすと魚が多くとれたので、それを引き上げることができなかった。」(ヨハネ21:6)

私たちは、必要に応じて霊的な答えがもたらされることについて話しているが、 あなたがたは霊的な答えを無視したり、その可能性というものをあざ笑ったりしな いように私は望む。「不平を言う前にまず試してみよ」とは、けだし名言である。 霊的な答えを得るよう試してみなければ、あなたはその存在いかんについて口をは さむことができないのである。正直なあなたは、それを試した結果について嘘を言 うことはできないであろう。

あなたは教会へ行って、信仰に生きようと努めたが、満足できなかったと言うかも知れない。これは何も不思議なことではない。知っての通り、すべてがあなたに都合のよいことだけとは限らないものである。教えの大部分すなわち完全な姿は、一つの所でしか見出せない。あなたはそれをここに探し求めたが、あっても気がつかなかったのかも知れない。それゆえ、私は繰り返し言う。正しい所を見つけて釣りをしてみなさい。

この命の水を味わってみよ、と強制する者はいない。あなたがその水を欲しいと 思う時にのみ、命の水は飲めるのである。強いられる者はなく自ら求める者のみが 存在する。

もし見出だそうとするならば、過去の千倍もの代価を支払い、今まで以上に努力をし、勇気を持ち、自制を養わなければならない。そうすれば、ついには次の約束が成就されるのである。

「誠に、主かくの如く言う。その罪を捨ててわれに来り、わが名を呼び、わが声に従い、わが誠命を守るあらゆる人々は、わが面を見てわれ在るを知ることあらん。また、われは世に来るあらゆる人を照らす真の光なることを知ることあらん。」(教義と聖約93: $1\sim2$ )

## — も く じ <del>—</del>

予言者のことば

大管長会メッセージ…………ジョセフ・フィールディング・スミス

ハロルド・B・リー副管長

N・エルドン・タナー副管長85	
ジ <sub>ぇ</sub> セフ・スミス89	
教会が組織された日 $\cdots$ 91	
ある晩のことマーガリィ・キャノン… 109	
神に忠実でありなさい 111	
エマ・レイ・リッグス・マッケイ	
ソープ・B・アイザクソン······ 113	
H 24/4/107 1 % 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

#### 4月のこよみ

3日 1814年 ロレンズ・スノー (5代 目大管長) オハイオ州マ ントウアに生まる。

4日 1870年 ジョージ・アルバート・ス ミス(8代目大管長)ソ ルトレーク市に生まる。

6日 1830年 末日聖徒イエス・キリス ト教会組織さる。

7日 1829年 ジョセフ・スミス, モル モン経の翻訳を始める。

9日 1951年 デビド・O・マッケイ 9代目大管長として支持 さる。

15日 1846年 「恐れず来たれ聖徒」ウィリアム・クレイトンにより作曲さる。

16日 1847年 開拓者団が143人の男, 3人の女,2人の子供達 により組織さる。

18日 1853年 南アメリカ伝道部を開設 するにあたり 宣教師着

20日1958年ニュージーランド神殿デビド・O・マッケイ大管長により献堂さる。

26日 1853年 ホンコンに最初の宣教師 着任。

## 今月の表紙

この絵はウィリアム・ウィタカーによるもので、P.91 に始まるドイル・L・グリーン著「教会が組織された日」の一事実を描いている。予言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリが予言者の父を確認している模様である。

# 大管長会メッセージ

ジョセフ・フィールディング・ スミス大管長

**愛** する兄弟姉妹の皆さん。この機関誌を通じて全世界の教会員と交わることのできるのは,すばらしい機会である。

あなたがたがこれを読む時、家族という単位が天父 の全計画においていかに大切かを思い出していただき たい。真に教会の組織は家族に昇栄を得させるために 存在している。







ハロルド・B・リー副管長

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長

N・エルドン・タナー副管長

家族の一致と家族が福音につき従うことは非常に大切であるため、敵は私たちの社会において家庭を崩壊させることに注目し始めている。至る所で、人生の善と気高さの基いである家族の高潔に攻撃が加えられている。時には世界を人口過剰から救うという名目のもとに政府や私設機関が行なっている家族制限を認めている末日聖徒もいる。また2人以上の子供を持つ者に何か法的な罪を加えようという動きも今や見られる。全世界に見られる人工流産の自由は生命の神聖なることを無視するように提案していることになる。不法な幻覚剤の使用、増々ふえている合法的な薬の乱用に伴い、家族はひきさかれている。若者の権威に対するけいべつは家庭における不敬と不従順から始まっている。主な雑誌は「母親らしさを架空の物語」と流布し女性の自由に関して過激な考え方を支持している。

悪魔の力が家族を引き裂こうと人々に攻撃を加えているため、末日聖徒の両親にも家族の維持と強化について批判的になってきている人がいる。家族の支持がなくて生きていける人はいるとしても非常に少数であり、ほとんどの人は深く心を配ってくれる人からもたらされる愛、教え、帰属感を必要としている。

末日聖徒の家庭の主な働きは、家族全員が完全に向かって成長することのできる雰囲気と境遇を作り出すことにある。このため両親が、自分たちの時間と労力を費やすことが、単に子供たちの物質的要求を満足させるものにとどまってはならない。一方、子供は自己本位になりがちな自分を抑えなければならない。

あなたは社会や事業で成功を治めるのと同じ位の時間を家族と家庭を良くするために用いているであろうか。あなたは社会で最も大切な単位すなわち家族に最大の労力を捧げているであろうか。それともあなたと家族との関係は、千編一律の何の喜びもないもので、あなたの生活における単なる部分にすぎないのであろうか。家族の昇栄を得るためには、両親と子供が自ら進んで家族の責任を第一に引き受けなければならないのである。

あなたがたを助けている教会のいくつかのプログラ

ムについて一言申しあげたい。1965年以来,教会は家庭の夕べのレッスンを提案してきた。このプログラムが大いに役立つことを無視している両親は子供の将来を危険にさらしている。このメッセージをあなたにとどけている聖徒の道は,教会が個人と家族を主に近くあらせるためのもう一つの手段である。もしあなたが読むならば,この雑誌は大いに良き影響を与えるはずである。月ごとに,証を強め,世の問題を解決する助けとなるはずである。若人にとっても,特定の活動,物語,記事が挿入されているため,もしこれを読むならば,動機づけとなり,自らを強めるものとなるであろう。

兄弟姉妹,私たちは驚嘆すべき時代に住んでいる。 この最後の神権時代に生きているということには、大いなる祝福が付随している。しかし、同時に大きなチャレンジと誘惑もある。願わくば天父が私たちすべてに力を与えたもうて、私たちが真の可能性に到達できるよう祈る。天父のみたまが教会の家庭にあって、愛と一致が見られるよう祈る。願わくば天父が私たちの家族を守り、高めたもうように、イエス・キリストのみ名により祈り奉る。

## ハロルド・B・リー副管長

私 は特に教会の若人、アロン神権者、ビーハイヴ マイアメイド、ローレル、大学生の皆さんに簡 単に述べたい。

私たちは有史以来の重大な時期に住んでいる。この 言葉はすでにありきたりの言葉になっているが、これ は真実である。そして、私たちは人生の問題を克服し ようと努力する時、これを思い起こす必要がある。

私たちはこの特別な時に生を受けるという特権に浴 しているため、信仰のきびしいチャレンジに 直 面 す る。おそらく、今日は過去をしのぐ誘惑があり、父祖 の信仰を棄てさせようとしている。

使徒パウロは次のように宣べている。「悪魔の策略 に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさ い。わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また 天上にいる悪の霊に対する戦いである。」(エペソ6: 11~12)

使徒パウロは私たちの人生の最大の戦いは銃や爆撃 機などの人による敵ではなく、人を暗やみに陥しいれ 人間の感覚では、わからないような、敵との戦いを指 差している。

さらに使徒パウロは人の体の4つの部分を守る基本的なよろいで身を固めた軍人に私たちをたとえている。これはあきらかにサタンとその軍勢が最もつけ入りやすいと考えた弱点であり、これらを通じて義の敵は人をおそうのである。「すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当を胸につけ、平和の福音の備えを足にはき、また、救のかぶとをかぶりなさい。」(エペソ6:14~15,17)

もしあなたの徳と大切な力を保護しようと思うならば、真理を腰のまわりにしめる帯としなければならない。あなたがたは、神殿において今も永世にも新しくかつ永遠の結婚の誓約を結ぶため、ふさわしくなるように全力を尽さなければならない。

さて、あなたの心あるいは人生における行ないを守る胸当とは何であろうか。それは義と呼ばれるもので作られているであろう。自分の間違った行ないや怠惰を毎日悔い改める必要があることを知っている義なる人は自らの進歩を目指して努力する。彼の肉体は気まぐれな生活によりもたらされる重荷のために浪費することがなく、若気の至りで誤った判断を下すことがない。彼ははっきりとした視野、鋭い知性、強健な体を持つ。

人生の目標や目的を示すあなたの足には,「平和の福音の備え」をはくべきである。備えは勝利への道であり、「永遠の警備は安全の代価」であるからである。演説であれ歌であれ、肉体的な戦いであれ道徳上の戦いであれ、勝利は備えのある者の上に輝く。

予言者であり教師である者のまとった最後の武具に ついて述べよう。私たちは頭に「救のかぶと」をかぶ る。私たちの頭脳あるいは知性は体を支配する器官である。それは敵から完全に守られなければならない。なぜならば、「人となりはその心に思うそのままであるから」(欽定訳箴言 23:7)である。救いとは、死すべき世において良き生活を送った報いとしてもたらされる、天父なる神と御子のみ前に住む永遠の光を得るということである。究極的に達成すべきものとして心の中に救いという目標を持ち続けるならば、私たちの行ないを決める思いと判断は、栄光に満ちた将来の状態の妨げとなるあらゆることに絶えず挑戦するであろう。

現代は若人にとってすばらしい時である。全き福音 が地上にあり、代償を喜んで支払う者には主のすべて の祝福がもたらされる。

暴力、不道徳、不貞、戦争、その他現代生活の悪の 渦巻く中に、悲観的になる傾向があることを私は知っ ている。若い兄弟姉妹に申しあげたい。決してあきら めてはならない。イエス・キリストの福音はこれらあ らゆる問題の答えを握っている。そしてあなたには堅 く立つ責任と義務がある。若さを享受しなさい。同時 に「完全な神の武具で身を固め」、あなたの証と地上 における大いなる業を達成する機会を失わせるような この世につけるものに対して立ち上りなさい。願わく は、主があなたを守り、祝福し、力を与えたもうて、あな たがたが誘惑に立ち向い、最良の人生を送る決意をし、 かくして永遠にわたって祝福を刈り取ることができる ように、イエス・キリストのみ名によりて祈り奉る。

アーメン

## N • エルドン • タナー副管長

あなたがた少年少女の皆さんは、すばらしい時代に成長しつつある。数年前までは、人間が月に着陸し、さまざまな出来事を全世界の家庭でカラーテレビ放送を通じて見、ボタンをひねるだけで熱や光や冷気がたちまち得られるとは考えられなかった。この日、この時代に生きているあなたがたは何と祝福され

ていることであろうか。

またあなたがたは自分がだれであって、なぜここにいるかを知っているから、祝福されている。今日のほとんどの少年少女、大人でさえも、自分がだれであって、なぜここにいるかという大切なことを知らないのである。彼らは自分たちが天父の子供であって、天父がこの美しい世界を計画され、そして我々が地上に誕生し、成長し、天父と御子イエス・キリストのようになることを可能にされたことを知らないでいる。だがあなたがたはこれを知っている。

彼らはイエス・キリストが今日,教会の頭であることを知らないが,私たちは知っている。私たちはこのことやキリストについてその他に多くのことを知っているから,他の少年少女や大人よりもキリストをよく知っており,彼ら以上にキリストを愛しているのは当然のことである。

イエス・キリストが地上におられた時の最も大切な 教えは、私たちが互いに愛し合わなければならないと いうことである。主は、「愛は、神から出たものであ る」と言われ「互いに愛し合え」と戒めておられる。 (Iョハネ 4:7)

予言者モルモンはこう述べている。「すべての幼児は私の目に等しく見える。私は完全な愛で幼児を愛する。」(モロナイ 8:17)すべての愛で最も完全な愛はもちろん天父とイエスが私たちすべてに持っておられる愛である。私たちが理解し始めることもできないような大いなる愛である。

御二方の愛に最も近い愛は、おそらくあなたの両親があなたに対して抱いている大いなる愛であろう。両親はあなたが生れる以前からあなたを愛していた。あなたが天父の家庭から両親のもとに来た時、あなたは両親にとって大いなる喜びとなった。あなたもいつの日か父親、母親となる時に同じ喜びを感じるであろう。両親の愛はあなたの成長とともに増し、決してやむことがない。

時にはあなたが同意してもらいたくとも,不賛成の 答えを両親は出すであろう。あなたを愛すればこそ, そう言うのであって、あなたが求めることが正しくないことを知った上で言うのである。あなたのしたいことは、家族の他の人にとって不公平なこともあるであろう。また天父の律法に反していることもあるであろう。天父の律法は私たちを導き、守り、強め、人生に喜びと意味をもたらすために与えられた。

あなたが本当に愛するならば、愛を受けるであろう。予言者ジョセフ・スミスの時代に他の多くの教会の指導者たちは、ジョセフ・スミスがなぜ多くの人々の心を引きつけ、彼らは苦難を受けるにもかかわらず喜んで従うのか尋ねた。ジョセフ・スミスはこう答えた。「なぜならば、私には愛の原則がある。私は世の人々に、良き心と良き行ないを示すことができるからである。」(予言者ジョセフ・スミスの教え P. 313、デゼレト出版社1968年)

あなたはどのようにしたら,互いに愛し合い,両親,兄弟姉妹,友達を愛するという戒めを守ることができるであろうか。話は話すことによって,勉強は勉強することによって学ぶ。これと同じように愛は愛することによって学ぶと言った人がいる。私たちは周囲の人々に愛していることを言葉通りの意味で毎日言い,自分たちの気持ちを示す必要がある。また,言葉のみで,「あなたを愛しています」と言うよりも,それを人々に示すことの方が大切な場合がある。

愛を述べ、親切、思いやり、礼儀を示すことによって愛を表わすならば、私たちの家庭は小さな天国になることができるのである。

現代は生活する上で本当にすばらしい時代である。 しかし、今日の世界は成長する少年少女にとって問題 も多い。あなたがだれであって、なぜここにいるかを 忘れさせようと誘惑する人々や物は多い。しかし、愛 する皆さん、あなたを一番愛している両親、教師、天 父、イエスの教えに従って生活するならば、すべてが あなたにとってうまくゆくことを忘れてはならない。 これらをイエス・キリストのみ名によって祈り奉る。

アーメン

# ジョセフ・スミス

B・H・ロバーツ (1888—1933) 七十人最高評議員会会員

「な ぜなら、すでにすえられている土台以外のものをすえることは、だれにもできない。そして、この土台はイエス・キリストである。この土台の上に、だれかが金、銀、宝石木、草、または、わらを用いて建てるならば、それぞれの仕事は、はっきりとわかってくる。すなわち、かの日は火の中に現われて、それを明らかにしまたその火は、それぞれの仕事がどんなものであるかを、ためすであろう。」(Iコリント3:11~13)

ジョセフ・スミスがまさしく,イエス・キリストがおかれた土台をおこうと努めたのはすばらしいことである。もし,ジョセフ・スミスがそうしなかったとしたら,彼の業は始めより非難をあびていたであろう。だが,ジョセフ・スミスの宣言した新しい神権時代には、キリストが神たること、キリスト

の教義と栄光が含まれていた。いかなる人もこれ以外の土台を置くことはできない。ジョセフ・スミスはその計画においてキリストを最も高き方としたのである。ジョセフ・スミスはキリストとキリストの忠節、真理によって、神の権威、権能を宣言したため、その業は永らえた。その中には、木、草、わらなどはなく、最も価値ある金、銀、宝石があったのである。

キリストの土台の上に建てる人の業はすべて、火によって試される。また時間によっても試される。ジョセフ・スミスの業は時間と火の試しに耐えた。新しい福音の神権時代の胎動が始まった頃、多くの「主義」「信仰」が生活、宗教、哲学にひろがった。クエーカー主義、観念論、オーエン主義(ロバート・オーエンが提唱したキリスト教に代わる共産労働主義)、キャンスト教に代わる共産労働主義)、キャン

ベリズム,キリストの再降臨の定められた日を唱えたミラー説がある。だが これらすべてはいずれも消滅するか, 非常にせばめられるか,宗教・哲学体 系の要因でしかなくなってしまった。

いわゆる「モルモンの教え」だけは 当初の力と目的を持ちつつ永らえた。 これは、モルモン教が完全な真理を持っているという証拠である。キリストだ がかつて自らを証するために言われた言葉はジョセフ・スミスに対して業なができよう。もし彼が神のなならば、信じるないできなったがたとえ彼を信じなくともそれが行ったとえてあるならば、業を信ぜよ。そももであるならば、業を信ぜよ。そももであるならば、業を信ぜよ。そももであるならば、業を信ぜよ。そももであるならば、神はジョセフと共に居りたであるならば、神はジョセフと共に居りたることがが100年以上もの間近代の調査、批判、嘲笑、迫害に耐えたことは それが真実であることの何よりの証拠 となり、神のもとにジョセフが世に与 えた福音と教会は彼を証するものとな るからである。

新しい神権時代の予言者,聖見者,彼の性格,業に関して大別すると3つの見方がある。

第一,ジョセフ・スミスを知っており,彼の正真正銘の価値を認めた彼の 熱心な弟子たちの証。

第二,理解できないと告白し,彼を なぞの人物だとする人たち。

第三,ジョセフ・スミスに断固反対した人々,敵が,彼を世から退けられるべき異端者,にせ予言者と考え,その業は世の人々を滅ぼし,彼が地獄に落ちるのを人々は喜んで見るだろうと考えたこと。

率直に言えば、私は第一の部類に属する。ジョセフ・スミスを信じ、彼を他の人にはなかった霊感を受けて世に神の真理を確立した、至高者なる神の予言者として受け入れ、無条件に彼を信じる者である。私にとって、ジョセフ・スミスは力ある霊であり、このため彼は生来、神の「偉大にして」「高貴な」「良き」英知の一人となったのである。神はこの偉大にして力あり強大な霊に対し、さらに敏速にして強い理解を得るための権威と霊感を与えられた。

ジョセフ・スミスに関しては**この**ような情況のもとで,私は少年時代を過した。私は書物を通して見るはるか以前に,彼について聞き及んでいた。人々は私に,ジョセフ・スミスの英雄的行為,恐れを知らない勇気,友人に対する限りない愛,神と神聖な物に対する敬虔,殉教に際しての高潔さの物語を読んでくれた。このすべてのために私は彼を愛していた。今もなお愛している。

私は彼の主張の大胆さに影響を受け た。非常な知識に基づいていたため, 常人を超越していたのである。恐らく 少年時代の私は、ジョセフが非常な支 配力を持ち、偉い人であり、教育を受 けていないにもかかわらず雄弁であっ たため,彼を愛していたのであろうと 思う。いずれにしても私は本質におい て彼と結びついており, いかなるもの もこの結びつきをとくこと は できな い。今こそソロモンの時代のように私 たちの愛の対象にはすこしの「しみ」 も, 「不完全」な所もないと言えるの である。少なくとも, 私が知り得た人 物で、ジョセフ・スミスほどの人はい なかった。

将来私がさらに大きな批判力を持ち 始め、知識が増し、人一倍真理を尊重 し、愛するようになれば、新しい神権 時代の予言者に限界を見、人の行ない のはかなさ, 欠点に気づくようにな り、自ら述べていたように予言者も他 人に感情と偏見を持つ人であるという ことを知るであろう。予言者が自ら限 界を認めていたということは、崇拝と 謙遜の徳を持ちあわせていたというこ とであり、私はこれにより一層彼を慕 い、私の心における彼の位置はなおも 変らないのである。予言者は私の心の 中で宮のように立っている。天使に対 してさえもその「愚かさ」の責任を問 うと言われた神はジョセフ・スミスを 僕として裁かれるであろう。私にとっ て,彼は至高者の予言者である。それ ゆえ彼を永遠に固守しよう ではない か。

ジョセフ・スミスに関してその他の 二つの見方に関して述べれば、彼をな ぞと称える人や敵には、勝手に想像さ せ、わけのわからないことを言わせて おこう。「いずれにしても、彼は敵の力 を超越している。」 ジョセフ・スミス の名声に汚ない形容詞を投げつけたと しても、神の計画における彼の立場を 変えることはできないし、他の人物に 変えることもできない。ジョセフ・ス ミスは今も昔も変わらぬ人であり、彼 の家庭は神々と共にあり、彼の業は地 に残る。

## 教会が組織された日

ドイル・L・グリーン

時:主の1830年4月6日 場所:ニューヨーク州セネカ郡フェイヤットのピーター・ホイットマー所有の小さな農家。

出来事:この神権時代におけるイ エス・キリストの教会の組織。

過去一世紀半にわたり,アメリカ合衆国内に数多くの教会が現われたが,いずれも教会の組織という点では,大した出来事ではなかった。しかし,神の真の教会が地上に再び確立され,正式に組織されたということは,今日この時代に住むあらゆる人々の注意を引く非常に大切でしかも重大な意味のある出来事である。

だれでもその意向があれば、教会を組織することはできる。そして条件を満たせば法的に認められた教会を組織できる。だが、国の法律に認められた教会を組織することと、神に認められた教会を組織することを同一視することはできない。神の承認と認可を受けるとすれば、それは神の指示のもとに組織された神の教会でなければならない。

古代の予言者アモスはこう述べている。「まことに主なる神はそのしもべである預言者にその隠れたことを示さないでは、何事をもなされない。」(アモス 3:7)また使徒パウロはヘブル人に宛てた

書簡の中でこう宣言している。

「だれもこの栄誉ある務を自分で得るのではなく, アロンの場合のように, 神の召しによって受けるのである。」(ヘブル5:4)

主は一人の若き予言者にみこころをあらわされ、アロンや世の歴史に残る他の予言者たちの場合と同じように彼を召された。この若き予言者が主の指示のもとに1830年4月のあの日の出来事を管理し指揮したのであった。彼は名をジョセフ・スミス(二代目)といい、わずか24才であった。これより10年前、主はジョセフが今や成就している役割のため、備えをさせられた。

14才の少年だったジョセフはいずれの教会に加わるべきか迷い,熱心に導きを祈り求めた。すると天父なる神,御子イエス・キリストが示現で彼に現われたまい,いずれの教会にも加わるなと言われた。「彼らことごとく誤れるを以てなり。彼らの信条はことごとくわが目より見て悪むべきものなり。また彼らは唇もてわれに近づけど,その心はわれに遠ざかれり。彼らは人の誡命を教えとして教え,神を敬う様をすれども神の力を否む」(ジョセフ・スミス2:19)

ニューヨーク州西部の人々は主

が14才の少年に語られた言葉を非常な驚きをもって受けたが、認めようとはしなかった。不思議に思う人もいなかった。そのようなことは先例がなかった。神は何世代何世紀もの間世に御自身を現わされなかった。一般に人々は天は閉じられたと信じていた。

だが、この少年をよく知っている人々は心を動かされた。ジョセフは正直で真面目で誠実で知的な少年であり、神の真の教会を熱心に求めていた。いわゆるキリスト教の宗派が非常に多く存在し、彼らの教義は極端に分かれていて、宗教界は混乱していた。真理はどこにあるのか。神権時代を通じて子らを導きたもうた愛深き御父が再び人に話しかけられると考えるのは不合理だろうか。

4年後、若きジョセフは自らを モロナイと名のるもう一人の天の 使いの訪れを受けた。そして、神は 大切な仕事をジョセフに果させた もうと語った。近くの丘に完全な 不滅の福音が記されている金版が 埋められており、ジョセフは金版 の文字を翻訳し、神のみ手にあっ て器となり福音を回復し、真の教 会を再び組織するというすばらし い特権にあずかるはずであった。

モロナイの指示に従って近くの 丘へ行くと,丸い石のふたがかぶ

その日の重要な出来事が始まる前,ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリーはピーター・ホイットマー家の二階の一室に集まった。 そこはモルモン経が翻訳されたところであった・

せてあり、何世紀もの間自然の力から守られていた石の箱に金版があるのを見つけた。

それをとろうとすると、金版を 手にする時はまだきておらず、4 年の間指示を受けるために1年に 一度そこへ来るようにジョセフは 言われた。そして、「神の王国が どうして、またどんな風にこの末 の世においてこれから指導されて 行くべきか」を教えられた。(ジョセフ・スミス2:53~54)

1829年4月7日,ジョセフはついに金版を受け、若き教師オリバー・カウドリが筆記者となって、金版の文章を翻訳する業が始められた。その後、3か月足らずで、記念すべき翻訳の業が完成した。そして1830年の初春、モルモン経として初版が出版された。

翻訳に携わる間二人の若者は疑問が起こると主に尋ね,このようにして多くの導きと知識を得た。たとえば多くの個所でバプテスマは救いに欠くことができないと述べられている。二人はこのことが,こ人ともバプテスマを受けていなりまった。二人が主に尋ねると,自らヨハネ,バプテスマの頭に手を按き,アロン神権を授け,互いにバプテスマを授けるように命じた。

さらにメルケゼデク神権を含む 教えと権能が業の進展の必要に応 じて与えられた。

1830年4月の初め、若き予言者は、教義と聖約と呼ばれる書物の第20章になった啓示を受けた。これはしばしば、「教会の組織管理に関する啓示」と呼ばれている。予言者ジョセフはこれについて記している。「予言と啓示・キリス・なりで、みたま』によりで、チェス・キカちの知らは『みたま』によりず、このとはを受けしたならず、このとはでのできくわしきまりかかるべきくわしき日本を指示せられたり。」(第20章の序)

啓示の第一節にはこう記されている。「この末の世に於けるキリストの教会の起りはこれなり。而して時はわれらの主,われらの救い主なるイエス・キリストが,肉身を以てこの世に来りたまいてより千八百三十年にして第四の月すなわち四月の六日,神意と神命によりて,わが国の国法に従い正式に組織創立せられたり。」

この啓示を調べる者ならば,人 の救いと地上における神の王国を 再び確立するという重要な事柄に 関し,僕に与えられた天の主の知 識と理解に大いなる感動をおぼえるに違いない。少くとも部分的には、主が以前若きジョセフに与えられた知識と導きの再確認、強調であったように思われる。

この啓示の中で特に重要な真理 と教えは以下の通りである。

1. 父なる神と御子イエス・キリストは生きて在します。神は限りなくかつ永遠にして、とこしえよりとこしえに至り変ることなく、天と地とその中にあるすべてのものを仕組まれた。

2. 人を神の姿にかたどり、神のかたちさながらに造られた。

3. 生きる真の神のみを人は礼拝 すべきである。

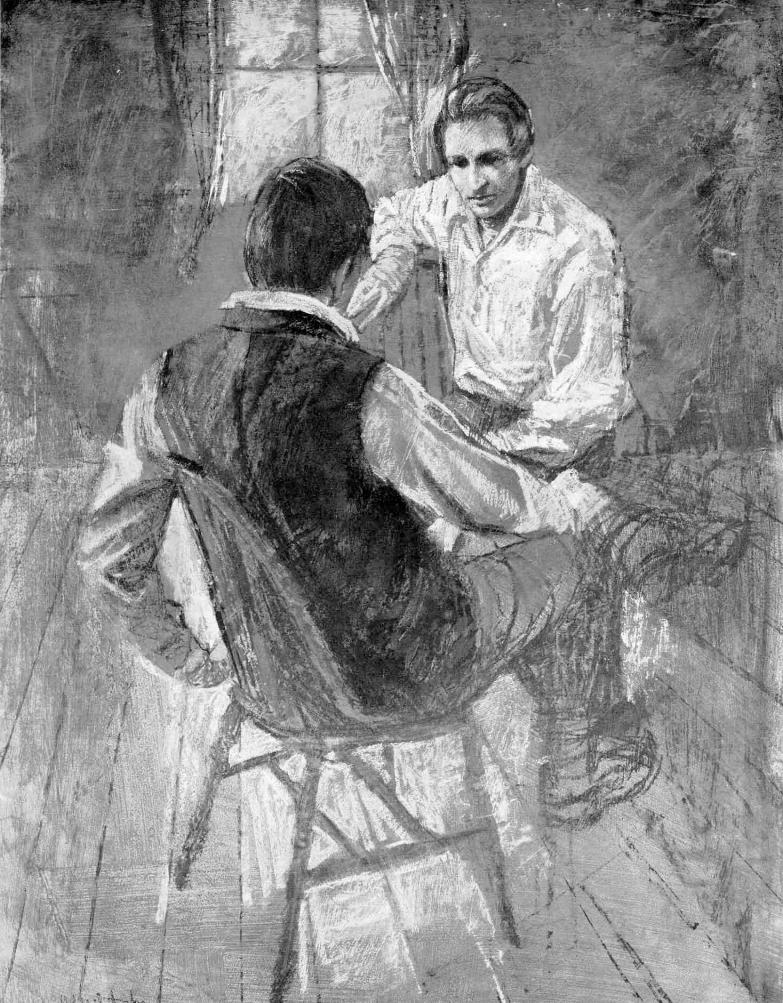
4. 聖霊は御父と御子とを証する 5. 人は神の律法を破って肉欲と 悪魔についた。

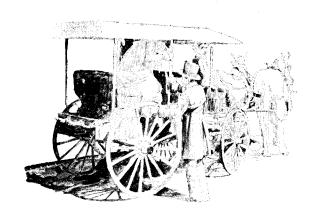
6. 神は真に子らを愛しておられる。

7. 神は「信じて彼の聖き名によりてバプテスマを受け、信仰を以て終りまで忍ぶ者は何人もみな救われんため」、その生みたまえるただ一人の御子を与えられた。(教義と聖約20:25)

8. 神は子らのために罪の許しの ための悔い改めの原則を定めたも うた。

9. すべての人々は真に悔い改め た後, バプテスマを受けなくては





ジョセフ・スミス (初代) はその日の出来 事に加わるためにホイットマー家に到来し た。この予言者の父親は、聖なる森で天父 と御子が現われた物語を最初に耳にし、信 じた人であった

ならない。 (バプテスマで用いる 祈りが与えられている)

10. 子女は「神の前に自己の責任を知る年令に達し」、バプテスマを受ける前に悔い改めなければならない。

11. バプテスマを受けた者は、権威ある者により按手によって教会員たることを確認され、聖霊の賜を受けなければならない。

12. 教会の儀式を執り行なうには正しく召され、権能ある者の手により聖任されなければならない。

13. 神は真に予言者と交わられ, 彼らを司るために使者を送られる 14. モルモン経は神の力によって 現わされ,翻訳された。

15. モルモン経にはイエス・キリストの全き福音が記録されている 16. モルモン経の出現は次のことを世に証している。「聖典の真実なることと、神は人々に真に霊感を与えて古えの代と同じくまた今の代にも神の聖き業に人々を召すこと、これを以て、また神は昨日も今日も世々限りなく同じ神にてあることを示すなり。」(教義と聖約20:11~12)

17. 信じて信仰を持ち義にかなって働く者はすべて永遠の生命を受ける。

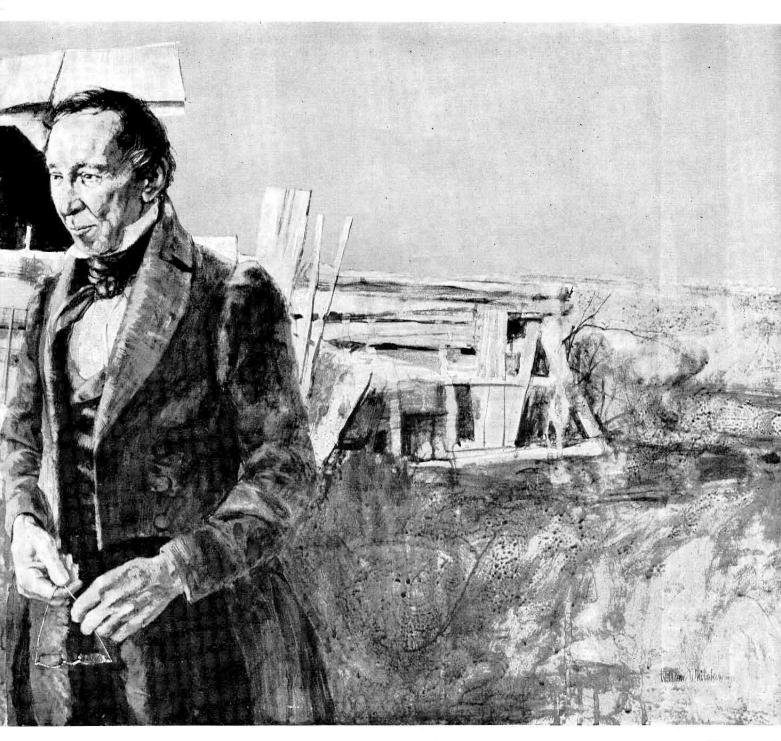
18. 教会は全体一致の慣例に従う 19. 長老,祭司,教師,執事,教 会員の義務が概説されている。

20. 主イエスをおぼえる聖餐式の重要性が強調されている。

21. 聖餐式を執行すべき方法と用うべき祈りが与えられている。

約1年前,1829年6月に主はジ ョセフ・スミスとオリバー・カウ ドリに教会を組織するにあたって 従うべき手続きを示されたが, 適 当な時まで待つように指示され た。ジョセフ・スミスの「教会歴 史」には次のように記されてい る。「私たちが厳粛にして、熱烈 な祈りを捧げていると, 部屋にお いて主のみ言葉があり、私がオリ バー・カウドリをイエス・キリス トの教会の長老に聖任し,彼が私 を同じ職に聖任し、時々知らされ ていたように互に聖任するよう命 じられた。しかしながら,バプテス マを受け, 共に集まる兄弟たちを 持ち,彼らの承認によって互いに 聖任し,私たちを霊の教師として 喜んで受け入れるかどうかを支持 の挙手によって決めさせることが できるようになるまで聖任を延ば すよう命じられた。またこの時, パンを祝し、それを彼らと共に裂 き, ぶどう液をとり, それを祝し







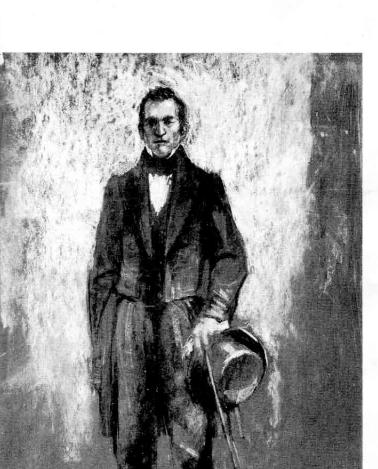
予言者の妻エマ・スミスと、予言者の兄ハイ ラムの妻ジェルシャはその会合のためにやっ て来た。

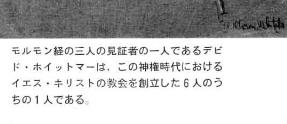
て共に飲んだ後、戒めに従って互いに聖任し、しかる後みたまの命じる人を召して聖任し、以前にバプテスマを受けたすべての者に聖霊の賜を付与する按手に加わるよう、またすべてのことを主のみ名によって行なうよう命じられた」教会歴史  $1:60\sim61$ )

約束された時がついにやって来た。ジョセフとオリバーのほかに「わが国の国法に従い」(教義と聖約 20:1)教会の法人設定者となるために選ばれた 4 人が集会に加わった。教会歴史には,ジョセフの兄弟,ハイラムとサムエル・H・スミス,組織集会のため家を提供した人の息子,デビッドとピーター・ホイットマー,Jr. と記されている。彼らはすでにバプテスマを受けていた。

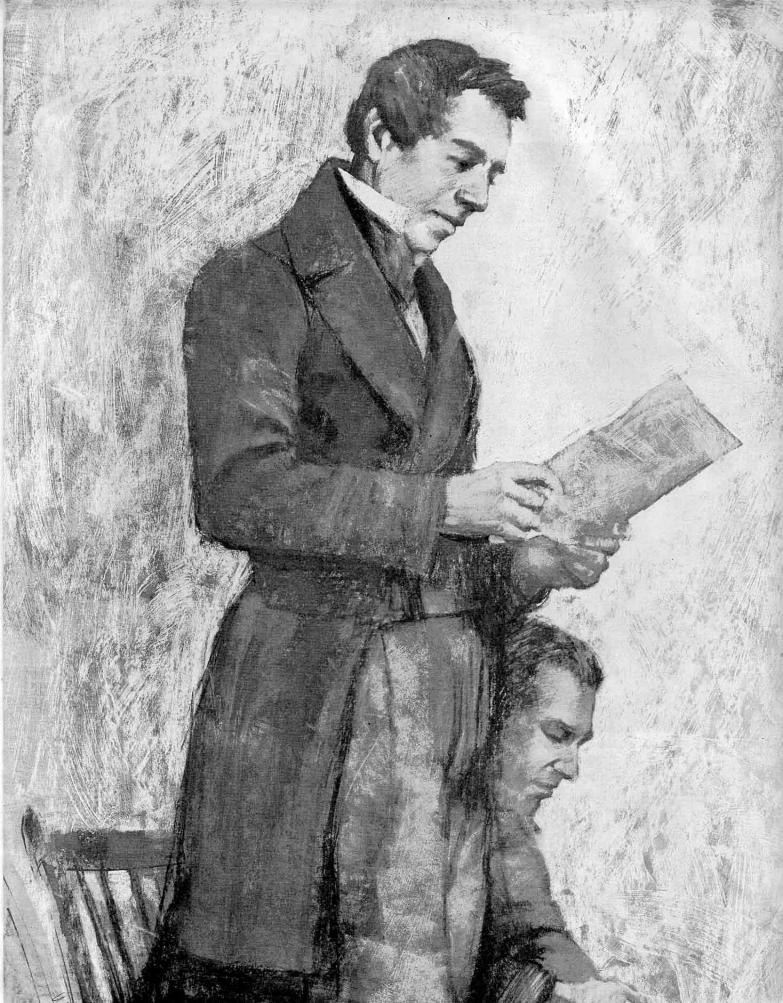
さらに、「わずか」の友人が招かれて、おそらく全部で30人に満











24歳のジョセフ・スミスはこの教会設立の 会を管理した。かれの片側にいるのは、金版 が翻訳される間ジョセフの書記を務めたオリ バー・カウドリである。

この神聖なる会は厳粛な祈りにより開会された。出席したのは、教会を正式に組織するための6人の人と、特別に招かれた数人の客と全部でおそらく30人にも満たない人々であった。

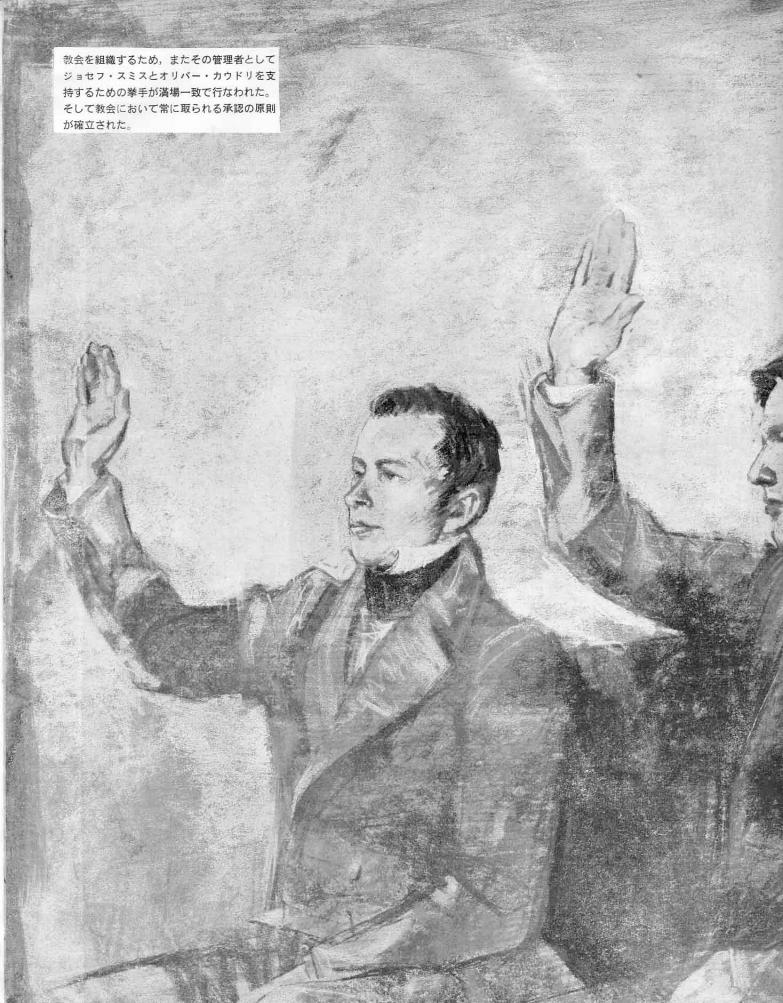


たない人々が出席した。その中には予言者の父ジョセフ・スミス, Sr,愛する母ルーシー・マック・スミスがいた。二人とも息子の話を信じ、業の初めから息子を励ましていた。

その日の手続きに関する記録は 残っていない。おそらくいくつか の出来事のはっきりとした順序に ついては疑問があるであろうが, そこで行なわれたことに関して同 意があったことは確かである。

若き予言者が開会を宣し, その

カウドリを教会の管理役員として 支持できるかどうかを 尋ねられ た。この件についても全員一致で 応えた。次にジョセフはオリバー を教会の長老に聖任し、代わって オリバーがジョセフをその職に聖 任した。主の晩餐の聖餐式がすで にバプテスマを受けていた者に対 り行なわれた。この聖なる儀式が この神権時代において主の選ばれ た僕によって行なわれたのは明確 にされている限りにおいて、これ が最初である。





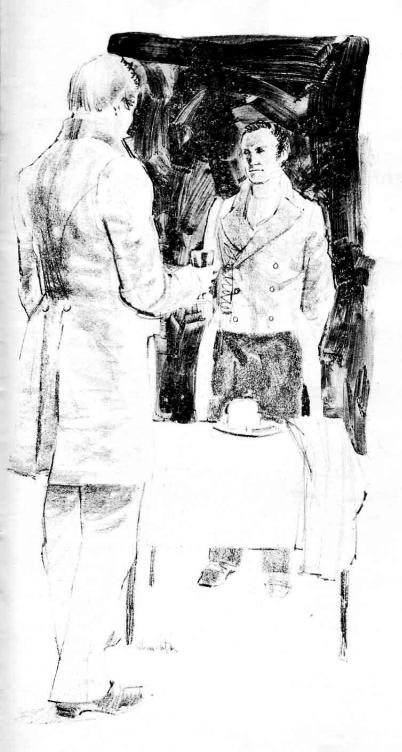
その日にバプテスマも行なわれ た。確かではないが、この儀式は セネカ湖付近で行なわれたものと 思われる。記録にはこう記されて いる。「次に私たちは出席した教 会員一人一人が聖霊の賜を受け, キリストの教会の会員に確認され るよう手を按いた。」(教会歴史 1:78) また予言者は次のように 記している。「上記の集会に出席 した何人かの人は真理を確信する に至り,すぐに進み出て来て,教会 に受け入れられた。人々と共に私 の父と母がバプテスマを受けた。 私は大いなる喜びと慰めを受け た。」(教会歴史 1:79)

このことにつき予言者の母は記している。「……ジョセフは父の手をとって岸に立ち、喜びの涙にむせびながら、『神はほむべきかな。われはイエス・キリストの真の教会においておのが父にバプテスマを授くるを見るまで生き永らえたり。』と叫んだ。」(ルーシー・マック・スミス「ジョセフ・スミスの歴史」P.168)

「確認の後、聖霊が私たちにあ ふるるばかりにくだり、すべての 者は主をたたえ、喜びに溢れ、あ る者は予言した。」(教会歴史1:78)

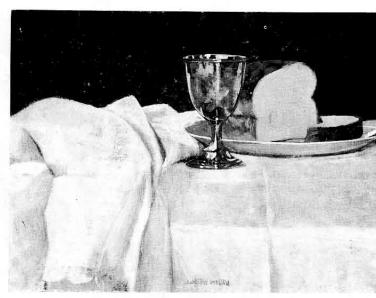
ジョセフ・スミスはオリバー・カウドリにイエス・キリストの教会の長老となるよう聖任した。このあと、オリバーがジョセフ・スミスを同じ職に聖任した。





ての日のもう一つの印象的な出来事は、予言者ジョセフ・スミスが啓示を受けたことである。これは教義と聖約第21章となっている。この啓示により主は、教会を受け入れたこと、教会の管理役員に召された者を認めたことを表明された。

啓示の一部を読んでみよう。 「見よ,汝らの中に誌さるる一つ の記録あらん。その記録に於て,



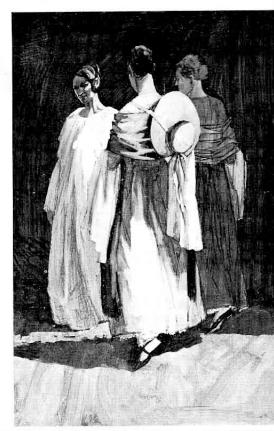
主の晩餐の聖餐会が教会の会員たちに授けられた。祈りは啓示により受けていたものが用いられた。

その会に出席していた 5 , 6 人の人々は, 「前方に進み出て来てすぐに教会に受け入れられた。」 これらの肖像画は バプテスマ を受ける用意をしている予言者の母親と妻を描いたものである。

父なる神の御こころと汝らの主イエス・キリストの恩恵とにより汝〔ジョセフ・スミス〕は聖見者、翻訳者、予言者、イエス・キリストの使徒、教会の長老と称せられん。また汝は聖霊に感じて教会の基を築き、それを最も聖き信仰に築き建てん。」(教義と聖約21:1~2)

予言者はさらに記録している。 「私たちはみたまの示すままに何 人かの兄弟たちを召し,神権の各 職に聖任した。そして神の恵みにより聖霊の力と祝福を見,感じるというすばらしい時を過した後,私たちは各人がこの末の日に神の戒めと啓示に従って組織され,新約聖書に記されている教会の秩序に従って組織された『キリストの教会の会員』であって,神に認められた者であるということに喜びを感じつつ散会した。」(教会歴史1:79)

1830年4月から140年がすぎた。





ジョセフとオリバーと他の人々はすでにパプ テスマを受けていたが、かれらはこの儀式を 次々と行なって、組織されたばかりのキリス トの教会に加入したしるしとした。





ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは予言者の父の頭に手を按きイエス・キリストの教会の会員に確認し、聖霊の賜を授けた。

モルモン経三人の見証者の一人、マーティン・ハリスは、モルモン 経の最初の印刷出版の費用 3 干ドルを供するため彼の農場の一部を 抵当に入れた。





わずか6人の会員で始められた教会は今や300万人を越す会員を擁するまでに成長している。教会の信仰厚き者は、1844年6月27日ジョセフ・スミスの殉教直後に書かれたこの聖句が、まさに真実であり、業の神聖なることを証している。

「主の予言者にして聖見者なる ジョセフ・スミスは、ただイエス ・キリストを除くのほか、この世 に生を受けたる何人よりもこの世 に於ける人類の救いに尽したり。」 (教義と聖約135:3)

本号の絵「教会が組織された日」はブリガム・ヤング大学芸術学部に所属し、末日聖徒の画家であるウィリアム・ウィタカーによるものである。

約8か月前,ウィタカー兄弟は この仕事を引き受け,出来事を絵 画化するにあたり自由に解釈する 許可が与えられた。彼は1970年の 夏季をほとんどこの制作に没頭 し,聞くところによれば,この作 品のいくつかは4,5回描きなお

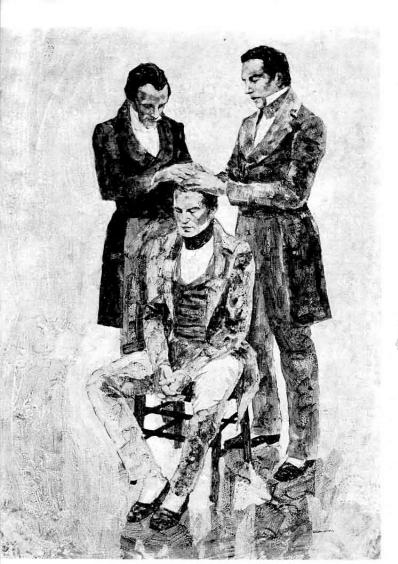
若き予言者ジョセフ・スミスを友として助けたピーター・ホイットマー(初代)はモルモン経を翻訳するための部屋を提供し、教会の組織のために彼の家を開放した。

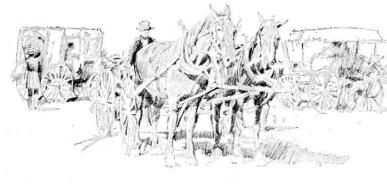


予言者の母, ルーシー・マックが証をしているところ。

したそうである。各種の技法や考えが折り込まれていることが、いっそうこの絵への興味を高めている。私たちの知る限りにおいて、これまで試みられてきたこの記念すべき日の絵画で、これはもっとも理解しやすい。

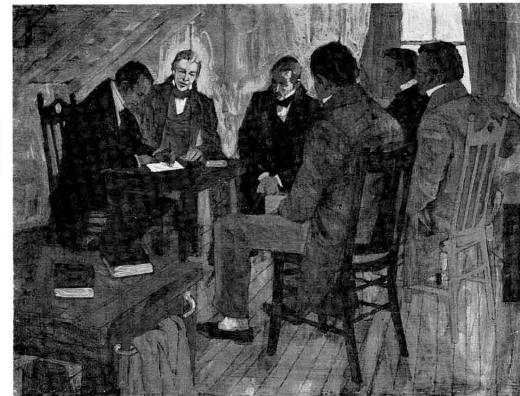
なお、ブリガム・ヤング大学の 歴史・宗教学教授、リチャード・ ロイド・アンダーソン博士が制作 にあたり助言を提供した。





ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはピーター・ホイットマーに按手聖任した。 数名の兄弟たちが、霊感の命ずるままにそれぞれの神権の職に聖任された。

教会設立に参加した他の5人の若者たちと共にいた予言者ジョセフ・スミスは教 義と聖約20章となった主からの啓示を受けた。その啓示の中で主はその管理役員 たちを承認したことを言明なさった。



# ある晩のこと

マーガリィ・キャノン

す でに日が暮れたにもかかわらず、ノーブーの町には不穏な空気が漂っていました。あちらこちらの窓には、ランプのあかりがともっていました。にわとりが羽をバタバタいわせ、どこからか犬の遠ぼえが聞こえて来ました。

11歳になるマリー・アンは表のドア に向かって走ってくる馬のひづめの音 を聞いてベッドの上に起き上がりまし た。

「プラット姉妹」と呼ぶ声がしました。「ジョセフとハイラムは死にました!カーセージの牢獄で暴徒に殺されたんです。」

マリー・アンは、ハッと息をのみました。やっとのおもいで息をつくと、おかあさんがドアのところで、低い、心配そうな声で使いの人と話しているのを聞こうと耳をそばだてました。すると急にひとりぼっちであることに気がつきおそろしくなりました。

床に足をおろした時、ドアが締まり 使いの人が出て行った後で、錠がおろ される音がきこえました。マリー・ア ンはいちもくさんにおかあさんの腕に 飛び込みました。そして二人は泣きだ しました。

マリー・アンは、お父さんがいて下

さって、何も心配はないと自分達に言ってほしいと思いました。彼女のほんとうのお父さんは、マリー・アンがまだ赤ん坊だった頃、急に亡くなったのでした。でも、お母さんがパーレー・ $\mathbf{P}$ ・プラット $^1$ と結婚した時、マリー・アンは、彼を愛することを学び、「お父様」とよびました。今、お父さんは、伝道に出ていて家にいませんでした。

ナイトガウンが涙でぬれた時、マリーは以前、予言者が泣いているのを見たのを思い出しました。それは一年前マリー・アンの家族がイギリスから再びもどってきた時のことでした。多くの改宗者たちがマリーの家族と同じ船に乗り、ジョセフ・スミスに会えるのを楽しみにしていました。

「私は、彼と親しい間柄になれるだろうよ。」とある人がいいました。 すると他の人々もくちぐちに、どんなに大勢人がいても、予言者をみつけることができると言いました。

マリー・アンはジョセフ・スミスが ノーブー軍団<sup>2</sup>での指導者として、馬に またがり、まわりを見わたしていた時 の予言者がどんなに威厳に満ちあふれ 偉大であったかを改宗者たちに話して あげました。彼女は、予言者がカート ランド神殿で人々に福音を述べたり、 またノーブーの小さな森でインディアンたちに福音について語っているのをみた時のことをそこにいる多くの人たちに話しました。

マリー・アンは蒸気船がミシシッピー川の大きな浮氷を押し切って進んで行き、ノーブーの町に近づいた時のことをよく覚えていました。岸にはたくさんの人々が集まって、旅行者の一行を歓迎するためにまちうけていました。するとすぐにマリー・アンは予言者に気がつきました。予言者は船に近づいて、船室に入り、パーレー・P・プラットを抱きしめ、それからそれぞれの家族のひとりひとりを歓迎しました。

予言者はお父さんが話していたように6フィートもあるとても大柄な人でマリー・アンの頭が彼のズボンの締金の上にやっととどくくらいでした。彼は体をかがめてマリー・アンの瞳をみつめ彼女と握手した後、腰をおろし、マリーの弟をひざにだき上げました。

「ほんとうにパーレー兄弟,あなた は実にたくさんの麦束を持って帰られ ましたね。」

彼はパーレーとナサンを抱きしめました。すると予言者の青く、潔く澄んだ目に涙があふれ、頰をつたってとめどなく流れました。

マリー・アンは、おとなの人が喜び に満ちあふれた時、時として泣くこと を知っていましたので、予言者がうれ しさのあまり涙を流していることがわ かりました。

マリー・アンは、予言者の涙をみた とき、お父さんが予言者に冗談を言っ たことを思い出しました。

「スミス兄弟, 私たちが安息の地に やって来たことについて都合が悪いの でしたら, 私たちは戻らなければなり ませんね。」

そこで、みんなが笑いました。とり わけ予言者はよく笑いました。そして



こう言いました。「パーレー兄弟,皆 さんを私の家に連れてきて下さい。」 マリー・アンは丘を登って行く時,予 言者におくれまいとして歩調をあわせ た事を思い出しました。

マリー・アンの思いは、妹のスーザンがしくしく泣きじゃくり始めたので中断されてしまいました。お母さんはゆりかごからスーザンを抱き上げ腕にだいて揺り動かしていました。涙をながしていてもお母さんの声はまるで聖歌隊といっしょに歌っている時のようにやさしく、きれいでした。

お母さんが歌っているのを聞きながら、マリー・アンは神殿のそばにある森で開かれたある集会のことを思い出しました。予言者は聖歌隊の座席にだれもいないのに気づき、みんなに讃美歌集をもって、歌える人は前に出るように言いました。またマリー・アンに向かって、前の方に出てきてすわるようにと合図しました。「あなたは歌えますね。」と言った時の彼の目は輝いていました。

そのことを思い出すと、マリーの目には新たな涙が流れました。ノーブーの子供たちは予言者がいなくなったことをほんとうに寂しく思うでしよう。

「予言者はこの事がやって来るのを 知っていたのかしら。お母さん」

「みんな彼の無事を気づかっていた の。彼の命はいつもおびやかされてい たのよ。」

「きっと知っていたと思うわ。」とマリーはきっぱり言いました。「3週間前にマルホーランド通りの森で,予言者がそこにいた子供たちに次の日曜日,日曜学校で会おうと約束されたのをおぼえているでしょう。その時こう言ったのよ。『私はここに来れるからません。もしできればここに来ます。でなければ、スティーヴン・エダード兄弟がかわりに来るでしよう。』って、「おかあさん,彼は知って

いたと思わない?」

お母さんはマリーをしっかりと 抱きしめ、次に膝の上で眠ってい る妹のスーザンを抱きしめまし た。二人にとって、それは答えの ない質問のようなものでした。二 人は空がしらみはじめるのを一緒 にみつめていました。そして早朝 のやわらかな風がバラの香りを運 びその香りが漂ってきました。

しばらくして、お母さんは こう言いました。「はっきり わかっている事が一つだけあるわ」私 たちは偉大で、りっぱな人を知るとい う祝福にあずかっているわ。彼が初め てあなたに握手して下さったのは、ス ーザン位の時ね。そして、昔船に乗っ て、スーザンが今私の腕で眠っている ようにあなたがお父さんの腕にだかれ ていた時、予言者はあなたを膝の上に のっけて下さったのよ。そして、あな たは気持ち良さそうに眠ったことがあ るのよ。」

「私, そのこと覚えているわ。おか あさん」

「いつか, そのことをスーザンに話 してあげられるわね」

「ええ,もちろんそうするわ」

マリー・アンは床をそっと歩いて妹 の寝顔をのぞきにお母さんのひざのと ころにひざまずきました。

「私がみた人、ジョセフ・スミスは 神様の最初の予言者であり、私は今も なおそれを知っているとスーザンに話 すわ。そしていつか天で、スーザンと 私は予言者に会うことができるのね」

注 1.パーレー・P・プラット(1807~1857) 十二使徒評議員

> 2. ノーブー軍団…ジョセフ・スミスを 陸軍中将,軍司令官として,イリノ イ州において1840年12月に結成され た独立軍



# 神に忠実で ありなさい

ルシール・C・リー ディングによる実話

外 は嵐が吹き荒れていた。求めて くる人々に小麦粉を分け与えて やった訳を静かに話して聞かせている 父親の声だけが小屋の中に 響い てい た。この小さな村に病気がまんえんし ており、この病気には小麦粉が特効薬 のようだった。

父親は辛抱強く子供達に, この奇妙な「冬の病」に子供達のうちだれひとりとしてかかっていないという特別な祝福を受けていることを話していた。この秋, 収穫に失敗したにもかかわらず, 村の人やフィルモアを通って西海岸へ行く開拓者のために荷馬車を造って商売をし, そのお金でどうやら小麦粉を手に入れることができていた。

今朝早く,母親はこう言った。「おねがいですから,もうこれ以上小麦粉をあげないで下さい。私たちはあと二三回しかパンを焼けません。もしあなたが小麦粉をあげたら,自分の子供た

ちの口からパンを取り上げることになるわ。」二人はこれからどうなることかと心配した。しかし、口を開く前にドアをノックする音がした。すると病気になっている妻のためにカップ一杯の小麦粉を乞いに来た村の人が立っていた。父親が彼に小麦粉を与えた時、その人の顔に感謝の念があふれているのを一番小さな子供でも気がついた。そして父親はこう言った。「神に忠実でありなさい。そうすれば神様は与えて下さいます。」

しかし、二、三分もしないうちに別の人がドアをノックする音が聞えた。 父親がドアを開けると若い男の人が立っていて、急いで中に入った。若い男が「カーリング兄弟、私の赤ん坊が死にかかっています。小麦粉が必要なんです。」と言った時、家族は父親がいやと言わないのを知っていた。

そのあと、母親はついに 泣き出した。すると父親はやさしく彼女に手をまわして、一緒にひざまずき、皆で祈るように言った。それから、父親がここに寒い十一月の日々に自分たち意味すでいることを感謝するなが、中間なあたたかいものが感じられた。そして彼はまたどうにから、特別なあたたかいものが感じられた。そして彼はまたどうにと付った。

祈り終って立ち上がると、父親は母親にさじを持ってきて、グレービ\*を作る箱から小麦粉をかき集めるように言った。すると、たくさんの小麦粉があり、家族にはあまるほどの小麦粉を見つけた時、母親はどんなにおどろいたことか。

それから、間もなく、もっと幸福な 瞬間がやってきた。家族が食事をして いるとまた他の人がドアをノックし た。外に立っていた男の人はこう言っ た。「あなたが荷馬車職人であること を聞いてきました。あなたの手をわず らわせたいんだが。」 そしてこう言っ た。「私はここに20トンの小麦粉を持っ ています。それでこの小麦粉で荷馬車 の代金を払いたいのですが。」

\*グレービ:料理する際,肉から出る汁に 小麦粉を混ぜてとろみをつけ 肉料理の上にかけるソース。



#### エマ・レイ・リッグス・マッケイ

 $1877 \sim 1970$ 

デビド・O・マッケイ大管長未亡人であるエマ・レイ・リッグス・マッケイ夫人,93才は1970年11月14日,土曜日にソルトレーク市のホテルユタで死去された。マッケイ大管長は二人の69回目の結婚記念日を祝って,間もない1月18日に死去された。

大管長がマッケイ姉妹のことを「やさしい妻」と呼んでいたように、彼女はやさしい妻として、大管長のそばで長い間共に生涯を過したすばらしい女性であったことについて書かれた出版物についてはあまり知られていない。彼女は O. H. リッグス、エマ・ロビンズ・リッグスの娘として1877年 6 月23日、ソルトレーク市で生まれた。

彼女は、ユタ大学に入学するためにハンツビルからソルトレーク市にやって来て、大学の近所にあったリッグス夫妻の家に部屋を借り学校の教師になろうと準備していた青年、デビド・O・マッケイに出会った。

二人の交際は、デビド・O・マッケイが大学に入ってから始まった。しかし、1897年にデビドが卒業した後、結婚は彼がイギリスへ宣教師として召されることになったため延期されたのである。その間、エマ・レイは大学に通い、1898年に卒業した。そして二人は1901年1月2日に結婚した。

エマ・レイはオグデン市ハンツビルの近くにあるマッケイの農場で家庭をもち オグデンで教会の補助組織にあって働き,のちにソルトレーク市に移った。

夫が1906年に十二使徒評議員会会員に召された後、マッケイ姉妹は、彼が任務で旅行している間、7人の子供たち(そのうち一人は幼年時代に死亡)の世話をするためにしばしば家に残った。

マッケィ大管長は、かつて子供たちにこう語ったことがあった。「長い間ずっとおまえたちはりっぱな母親を見てきた。私はおまえたちとお母さんに感謝したい。とくにお母さんの献身的な愛と霊感と誠実な援助によって、私たちはいつも成功を得てきた。」

子供たちが成長していくにしたがって、マッケイ姉妹は次第に夫のそばにいることが多くなった。彼は1934年10月の半期総大会で大管長会の第二副管長に召され、次いで1951年4月9日大管長となった。大管長会在任期間中に二人は一緒にすべての大陸と海の島々を旅行した。

マッケイ姉妹は、ソルトレーク市に住む 4 人の息子:デビド・ローレンス、ルウエリン・R、エドワード・R、アルバート・R、マッケイと 2 人の娘:シカゴに住むラッセル・H(ロウ、ジーン)ブラッド夫人、ソルトレーク市に住むコンウエイ・A(エマ・レイ)アシュトン夫人と22人の孫、25人の曾孫を残している。

葬儀は、大管長会の管理のもとに11月18日、アッセンブリーホールで挙行された。



## ソープ・B・アイザクソン

1898~1970

十二使徒評議員会補助 1961~1965, 1970 大 管 長 会 副 管 長 1965~1970 管理監督会第一副監督 1952~1961

ソ ープ・B・アイザクソン長老は 息子たちにこう忠告した。「や むをえずやり残す仕事があるとしても それは教会の仕事であってはならない。」この言葉にアイザクソン長老が 教会に対して、霊的、肉体的に非常な 力を尽していたことがうかがえる。彼 はいろいろな分野、すなわち、運動競 技、教育、事業、市政活動、そして生 涯を通じ最も大切であった主の業の指 導者にあって、非常な心血を注いだが その源といえば、それは福音の原則で あった。

アイザクソン長老は1898年9月6日 ユタ州中部にある,エフライムという 小さな農村で生まれた。祖父はヨーロッパで福音を受け入れた。それで,彼 は開拓者だった両親,マーティン・ア イザクソンとマリー・ベィル・アイザク ソンから福音について教えを受けた。

青年時代,彼は運動選手としてずばぬけていたので,エフライムにあるスノーアカデミー(現在のスノーカレッジ)やブリガム・ヤング大学,ユタ農業大学(現在のユタ州大学),バークレイにあるカリフォルニア大学に通った。

ボックス,エルダー郡で教鞭を取っていた頃アイザクソン長老はローラ・モーガン・ジョーンズに出会い,二人は1920年6月16日ソルトレーク神殿で結婚した。結婚してからも彼は教師として,コーチとして,校長として,またユタ州アイダホ州の各学校の教師として活躍した。後に彼は生命保険会社の役員として成功を修めた。ある年には、アメリカで最も優れた生命保険マ

ンに選ばれたこともあった。

アイザクソン長老の市政や教会での 活動は非常に多彩であった。彼は、教 会の史跡委員会の議長、ブリガム・ヤ ング大学理事会の副理事長、ユタ州立 大学理事長、ユタ大学理事を 歴任 し た。

政府関係では、合衆国教育委員会の特別顧問、合衆国海外援助機関の顧問また、ユタ・リトル・フーバー委員会の委員として活躍した。また15年間もの間、ユタ交響楽団の指揮者をつとめ、ヒーバー・J・グラント会社の重役、デゼレト出版会社の取締役会の副議長、病院団体の役員をつとめた。

アイザクソン長老は1946年12月12日に管理監督会第二副監督として支持され、ついで1952年4月6日に管理監督会第一副監督として支持された。1961年9月30日に十二使徒評議員会補助に支持され、1965年10月28日には、デビド・O・マッケイ大管長とする大管長会の副管長として支持された。この職は今年の1月、マッケイを大管長の死去により解任された。

マッケイ大管長は1955年スノー大学 の講堂で開かれた講演会プログラムに おいて、アイザクソン長老をすぐれた 講演者の第一にあげた。

「私はなるほどと思いました。」とマッケイ大管長は語った。「種々の活動分野におけるアイザクソン監督のすばらしい成功の秘密は主として三つあります。その一つは彼が祖先から受け継いだ性格の強さと誠実さです。第二に彼が幼い頃この地方で過した環境で

あり、第三に、現在の彼をあらしめた 勤勉と努力です。」

教会幹部として、アイザクソン長老は各地方の教会を訪問した。行く先々で彼の親しみ深い精神と熱心さは受け入れられた。アイザクソン長老は特に成人アロン神権プログラムを重視し、このため、全教会でこのプログラムが活発になった。

近年、病気が悪化したために活発に 仕事を行なえなかった。アイザクソン 長老にとって死はこの状態から解放さ れるという一つの祝福と考えられる。 しかし、病床にあって教会の諸業務に 関しては鋭い関心を持ち続けていた。

アイザクソン長老は1970年11月9日に死去した。葬儀は大管長会のN・エルドン・タナー副管長の管理のもとにテンプルスクエアーのアッセンブリーホールで二日後挙行された。

アイザクソン姉妹と一人娘のロイヤル(ジョイス)トリブ夫人と一人息子のリチャード・A・アイザクソンと9人の孫及び彼の4人の兄弟と1人の姉妹がこの世に残された。

イエス・キリストの福音に対するア イザクソン長老の偉大な熱意は現代の 教会業務において懐かしく思い起こさ れるであろう。

「やむをえずやり残す仕事があるとしても、それは教会の仕事であってはならない。」というこの言葉は、私たちすべてにとってりっぱな忠告となるであろう。

## 〈日本中央伝道部の頁〉

## 日本中央伝道部に起りつつあること

岡崎伝道部長夫妻

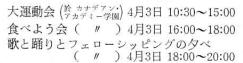
エドワード岡崎行雄伝道部長が日本沖縄伝道部長として1968年の8月に召されてから, も早2年7か月が過ぎ去りました。夢の様に過ぎ去った2年7か月ですが、その間、日本 沖縄伝道部は日本中央伝道部と日本西部伝道部に分割され、日本の西部方面の伝道が増々 強化されたり、二度の大きなMIAコンファレンス又ハワイ神殿訪問、日本万国博モルモ ン館出展等の重大責任を無事成功裡に終えられました。ここで岡崎伝道部長の部長就任以 来の伝道部の発展をバプテスマの数で現わして見たいと思います。

バプテスマ	スマ 1968年改宗者 271人		
年間比較表	1969年	改宗者	577人
	1970年	改宗者	706人

1970年度は万国博の年で706名の改宗があり、その内訳は男性379人、女性327人。最優 秀であった支部は阿倍野支部で147名(男性76人,女性71人)次が岡崎支部の117名(男性 75人,女性42人)でした。なを万博期間中は半数の宣教師がモルモン館で奉仕し、伝道活 動が出来ませんでしたが、残りの半数でこのような成果を上げました。現在(1971年3月

現在)の伝道部の会員数は3.648人,宣教師168人,会員の大神権者238人ですが,1971年は1月の地方部大会だけで34名の大神 権者が生れました。岡崎部長の御在任の間私達は全力を尽し伝道部長を助け神の王国建設に頑張りましょう。

#### (日本中央伝道部誕生大会のお知らせ) テーマ:私は神の子



神 権 会(於豊中市民会館) 4月4日 9:00~10:30 一般大会一部 ( // ) 4月4日 11:00~13:00 一般大会二部 ( // ) 4月4日 14:00~15:30 指導者会 (於岡町支部) 4月4日 16:30~18:30

## 〈万博による幸福の探求〉(吹田支部の家族の会員達)

「人間で幸福になりたいと望まないものは誰もありますまい」で始まる映画 \*幸福を探 し求めて、は万博モルモン館のハイライトでした。この主イエス・キリストの貴いメッセ ージを聞き心を大きく開いてめでたくキリストの教会に改宗された人々の中でとりわけ目 立つのは吹田支部で改宗をなした五組の家族である。吹田支部は今年1月に岡町より独立 して支部開設をされたが、もはや聖さん式には70名以上の会員の出席を見ている。新しい 支部にあって、万博で改宗された赤沢、山本、村上、星野、小林の五家族の人々は家族ぐ

るみでオルガニストに、音楽指揮者に、又補助組織の会長会に猛烈な勢いで活躍されている。このたのもしい家族の増々の御 活躍と支部の発展と神の王国の栄光を心よりお祈り致します。



赤沢兄弟の御家族



星野兄弟の御家族



山本兄弟の御家族



赤沢兄弟の御家族



小林兄弟の御家族



村上兄弟の御家族

## 西部伝道部のページ

このたび、伝道部長会が完全に組織されました。 渡辺驪伝道部長(中央)、吉沢敏夫第一副伝道部長(左)、八 木沼修一第二副伝道部長。



新しく福岡支部長会が組織されました。左より, 柳教朗第 二副支部長, 重岡政信支部長, 長浜俊生第一副支部長, 曾田 耕吉支部書記。



## 日豊本線の事故

#### 死は義人、悪人を問わずすべての人にとって裁きの日の始めである…………

(モルモンの教義, 裁きの日)

ここまで読んだ時、列車が大きく傾き、彼らは何かが起ったことを感じた。日豊本線宮崎発山川 行きの列車に乗り込んだウィーバー長老とデボロス長老は列車事故に遭遇したのである。 インタビューを通じてその模様を語ってもらおう。



ウィーバー長老





デボロス長老

#### その事故はいつ、どこで起ったのですか。

昨年の11月24日,午前10時20分頃,間もなく鹿児島駅に着 こうという時でした。後でわかったのですが、ダンプカーが 線路上に転落してきて、そこへ列車が衝突したのです。

#### どういう目的で旅行を。

当時私たちは宮崎・鹿児島地区のゾーンリーダーで、その 仕事で宮崎から鹿児島へ訪問のために向っていたのです。

#### 事故発生直後はどんな状態でしたか。

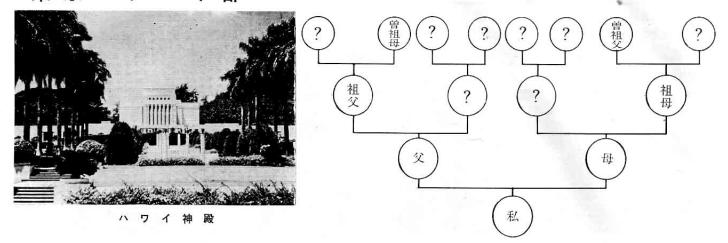
私たちは横倒しになった客車の倒れた方の窓側に座っていたのですが、ショックは相当大きかったようです。というのは私たちはそれほど感じなかったのですがほとんどの人が座席から投げ出されました。私たちに向い合って座っていた方

は衝突と同時に窓から投げ出され、頭と足は見えるのですが体は見えませんでした。窓わくの下じきになって、即死でした。また彼の友人は顔中血まみれで、苦痛のためにうめいていました。ほとんどの人が傷を負って血を流していました。そうでなくとも衣服は泥だらけになりました。

#### そしてあなたがたは,

私たちは一瞬何が起ったのか判りませんでした。余りショックも感じませんでしたし、窓に(底に)叩きつけられることもありませんでした。それに衣服も全然汚れませんでした。本当に不思議なことです。主は確かに宣教師である私たちを守られたことを感じることができます。同時に、私たちは主に見守られているという証を強くすることができました。

## 東京ステーキ部



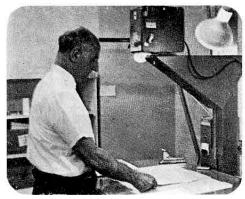
見よ、主の大いなるおそるべき日の来る前に、予言者エライジャの手によりて、われ神権を汝 に顕さん。彼は先祖になされし約束を子らの心に植え、子らの心にその先祖を思わしめん。も し然らずば、主の来る時、全地はことごとく荒れ廃れん。(DC2)

# 系図を調べよう

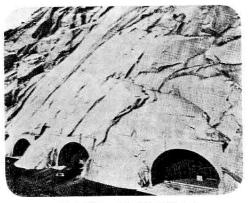
万博から一年経過しました。万人にまことの幸福を 多くの宣教師がこの地を訪れ、神の羊たちを集めてい ます。すでに福音を耳にした聖徒は、神殿を訪ずれ、 さらに己が信仰を強めています。このよきおとずれを 知ることなく, この世を去ったわれらの先祖も, 霊界 で福音を耳にしています。神殿では死者の身代わりの 儀式が行われています。この福音こそ永遠の幸福をも たらすものであると確信した一人一人が、次になすべ

きことは何でしょう。この地にある人々には福音を伝 もたらす福音は、日本各地で宣べ伝えられています。 へこの世を去った人々には、系図を調べ身代わりの儀 式を行なうことでしょう。己が富と時を捧げて働く若 き宣教師のごとく、私たちも先祖の探求にお金と時間 を使いましょう。たくさんの先祖を見出せば、儀式を 行なう神殿はこの地により早く建てられるでしょう。 どのように調べていくのかあなたの身近かにいる系図 指導者に相談してください。あなたの努力のうえに主 の導きがあるように祈っています。

この故に,いざわれら一教会員として,一人の民として,また末日の聖徒として 義しきに適う捧物を主に捧げん。またいざわれら,主の神殿の完成せる時,その 中に於て、主が完全に受け入れたもう価値ある、われらの死者の記録を載せたる -冊の書を主に呈せん。 (DC128:24)



完成した記録はマイクロフィルムに撮影される



(みかげ石の山) 記録貯蔵倉庫



記録保管キャビネット

## 日本伝道部だより

## 〈沼津・長野伝道地―支部となる〉



沼津支部支部長会のメンバー



沼津支部の会員たち

が、彼らの献身的な働きは、長野支部を成長させ、成功させることでしょう。基いとなって働いた人々、今長野で働いている人々の努力をとおして、やがて支部に加わるべき家族が見つけられ、彼らは良い確固たる土台となることを私達は知っています。

青木勝洋長老が支部長として選ばれました。彼は勤勉な、そして献身的な宣教師として非常にすばらしい仕事をすることでしょう。その第一副支部長として竹ノ内勝美兄弟、第二副支部長として渋川多恵史兄弟、書記として桜井宗一兄弟が召されました。これらのすばらしい若者達は長野支部をよく管理し、導いていくでしょう。扶助協会会長として詫麻京子姉妹、その第一副会長として白沢栄子姉妹、第二副会長として成沢科子姉妹、書記として柄沢正子姉妹が任命されました。宮沢孝雄兄弟は、YMMIA書記の光林繁夫兄弟と共にMIAを導き、町田祐子姉妹は、第一副会長の田中千鶴子姉妹と書記の東沢まさ子姉妹と一緒にYWMIAを指導します。戸谷信雄兄弟は日曜学校に召されました。

主の業が推し進められ、新しい支部の新しい指導者たちの 上に豊かな恵みと導きがありますように祈りつつ。 2月14日, 沼津に住む会員たちにとって待ちに待った日が やってきました。6か月前に開かれた沼津伝道地が急速な成 長を遂げ、日本伝道部における一支部となる準備ができたの です。数家族とお年を召した方々がおられ、又支部に必要な 神権及び指導性もありこの運びとなりました。

新しい宣教師(と言っても教会の活動においては新しくないのですが)増井重之長老が支部長として、第一副支部長に手塚昭夫兄弟、書記には植松延幸兄弟が召されました。日曜学校管理会長には杉本晴男兄弟、初等協会会長として三沢洋美姉妹、扶助協会会長として三沢貞子姉妹、その第一副会長として手塚久美子姉妹、書記として鈴木洋子姉妹が召されました。

その日の集会は非常にすばらしい霊的なもので、新しく召 され、喜んで受けた人々の類には涙が伝っていました。主の 御業は沼津の地で推し進められています。

2月21日,長野伝道地も支部となりました。長野は日本アルプスのそばに位置し、約15か月前に伝道が開始されました。そして、宣教師達は真理を求める人々を見い出すために勤勉に働いてきました。長野の会員のほとんどは若いのです



長野支部支部長会のメンバー



長野支部の会員たち

